

気をつけよう! ゴールポストの事故



移動式サッカーゴールは、ポスト（前面の両脇のバー）とクロスバー（上のバー）が全重量の過半を占めているため、一度バランスを崩すと思わぬ速さで前方に倒れる不安定な構造となっています。昨年度（平成25年度）もサッカーゴールのクロスバーに生徒がぶら下がりゴールが転倒し、その下敷きとなり生徒が死亡するという重大な事故が発生しています。

安全指導、安全点検で事故の発生を少しでも防ぐようにしましょう。

1 安全指導の徹底

安全指導では、指導者が事故発生について予見できるか否かが重要です。授業では、様々な個性・能力のある児童・生徒が参加することから、日ごろから**繰り返し注意喚起**をすることで、危険が回避される可能性が高くなると思われます。

2 適切な安全点検の実施

サッカーゴールなどのクロスバーやフレームに腐食や部品の欠落等がないか**点検し、異常がある場合は早急に補修する等、適切な安全対策を講じる**ことが重要です。また、砂袋等を重りにするなど、**転倒防止処置を施す**ことも大切です。

3 危機管理体制の再点検

教育活動における事故防止や危険回避は認識しているものの、事故への甘さ（「自分の学校で事故は起こらない。」と思いつむ）や安全管理に慣れないかを再確認し、教師の安全管理義務を十分に理解し、**事故を予見した対応**が求められています。

危機管理体制は職員室の目に付きやすい場所に掲示するようにしましょう。



安全点検実施の チェックポイント

Check 1 ゴールは、**水平で平坦な場所に設置**していますか？

※ゴールの前側の地盤が低いとゴールは倒れ易くなります。

Check 2 ゴールを固定する際は、**管理者が安全であると判断できる方法で確実に転倒防止処置を**し、**使用の際に毎回このことを教師自らが確認**していますか？

※ゴールは安定感に乏しいため、強風や人の行為（押す、引く、ぶら下がる等）により転倒する可能性があります。設置場所に合わせた転倒防止処置を確実に施しましょう。

Check 3 ゴールの保管の際に**安全について配慮**していますか？

※ゴール未使用時（保管時）には、ゴールを前方に倒したり、ゴール前面を壁際に固定するなどしましょう。

参考資料：「学校施設における事故防止の留意点について」文部科学省（平成21年3月） 学校安全参考資料「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」文部科学省（平成22年3月改訂）
「学校における体育活動中の事故防止について（報告書）」文部科学省（平成24年7月）